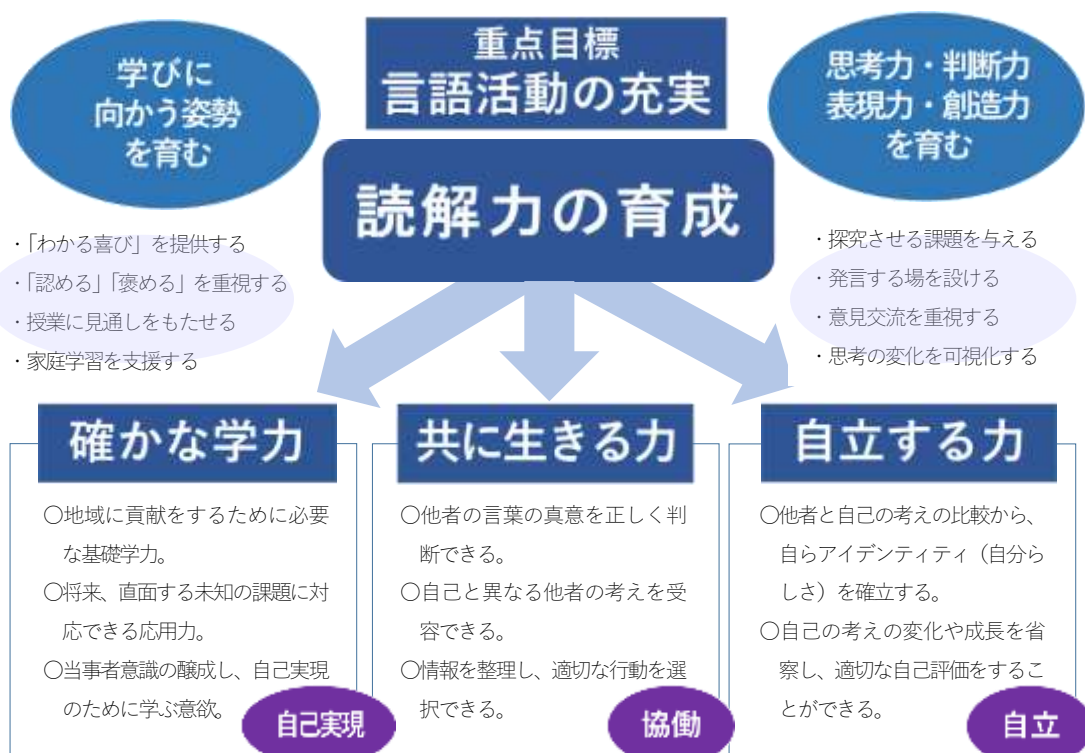


2019年度 岐阜県立郡上北高等学校 研究推進委員会 研究構想図

教科指導の重点 連携型中高一貫教育の目標



地域に貢献できる汎用的な能力を育む よき地域社会人の育成（不撓不屈の郡上人）

上記に示した汎用的な力はふるさと教育においても重要

ふるさと教育

小・中学校で学んだ、地域を「見る」「知る」「調べる」「考える」をベースに、ふるさとの活性化に向けた課題解決に取り組む。

第3次 教育ビジョン

- ・読解力育成に向けて、各教科でどのような取り組みを実施しているかを知ることができ、授業改善の材料となる。
- ・日常の話題が授業のことで、普段の授業における困難さを他の教員と共有することができる。

- ・小・中学校の教員と交流することで指導方法の共有が可能となり、高等学校での指導方法を検討する情報になる。
- ・小・中学校におけるふるさと教育の実践を知ることで12か年の「系統的な総合的な探究の時間」を模索できる。

学校改革P委員会 研究推進委員会 企画・運営

郡上北高校型授業研究会
「協働態勢づくり」
異なる年代・教科
小グループによる
コンパクト授業研究会

小・中学校教員との交流
「指導法の共有」
白鳥中学校授業研究会
郡上市教育研究会授業研究会
白鳥地区教科部会

具体的な 取り組み

①答えのない課題を与え、意見を交流する授業の実施

- ・生徒が「探究」できる場面を設け、生徒間で考えを「交流」させる。
- ・生徒が協働的に最適解を導けるよう、授業進行のファシリテーターとして支援を行う。

②生徒自身が成果を感じられるワークシートの作成

- ・生徒の省察（リフレクション）を重視し、変化を記録できるワークシートを導入する。
- ・生徒の提出したワークシートでは、個人の意見が書かれている部分に線を引くなどして、生徒一人ひとりの見方・考え方を尊重し、生徒自身にも良さを認識させる。
- ・授業のゴールをループリック等で具体的に示すことで見通しと達成感を与える。

よき地域社会人として
求められる力の育成